

行雲流水

No.281 令和5年4月6日発行

本校教育活動の始業にあたって（校長式辞）

校長 寒河江 正人

ただいま、新たに13名の先生方をお迎えしました。

「令和5年度・1学期」授業日数**76日間**のスタートです。

さて、今から3年4ヶ月前、中国・武漢市で発生した「新型コロナウイルス感染症」。

全世界でその猛威を振るい、感染者の数は、**7億6000万人**を超えました。

私たちの日本・山形県、そして東根市も、神町中学校も、その脅威と闘ってきました。

人類にとっては、「長い長い闘い」であります。

授業、学校行事、生徒会活動、課外活動、お友達と楽しくお話をすること、等々。

本来なら当たり前に行えたこと、それと同じことができないことも、ありました。

思えば、この3年間。失うことの多い経験だったのかもしれませんが。

しかし、得ること・学ぶことも、たくさんあったはずです。

誰かに「不平不満や誹謗中傷」をまき散らすことを生徒諸君は、しませんでした。

そんなことで、事態は好転しないし、決して問題が解決しないことを学んだからです。

だからこそ、**みんなで建設的に知恵を出し合い、協力し、工夫をして前進してきた**のです。

私たち「**人類の尊い、賢い知恵**」が、試された貴重な時間だったのかもしれませんが。

今、世の中は、ようやく新たな局面を迎えようとする兆しが見えてきました。

来月5月8日には、感染法上、「2類」から「5類」に引き下げられる予定です。

いよいよ生徒諸君が一層活躍できうる機会が巡ってきました。

「**Think global, Act local.**」（シンク グローバル、アクト ローカル。）

地球規模で物事をとらえ、自分の住んでいる地域で自分にできることを具体的に行動する。

これが、「**自由・英知・友愛**」を校訓に掲げる神町中学校・生徒諸君の姿そのものです。

待ちに待ったポスト・コロナ時代。「**充実した学校生活**」を共に実現しましょう！！

一方、県内外の各地で「**桜の開花を知らせる便り**」を耳にするようになりました。

近隣の桜も、つぼみが色づき始めました。まもなく見事な満開の姿を見せてくれるはず。

明日には、君たちの後輩となる「**新入生179名**」が入学します。

さあ、君たちは、今、新しい1年間のスタートラインにつきました。

昨日までの「過去」は、もう振り返らない。「過去」は、決して引きずらない。

「**過去の事実**」は変えられないが、「**未来の事実**」は変えられる可能性がある。

「**新しい自分**」を育てる、「**新しい歴史**」を刻むのは、君たち自身一人ひとりです。

君たちの「**成長しようとする心と行動**」を、**本校の教職員47名**全員で支えていきます。

いっしょに成長します。がんばりましょう！！（おわり）